

交通指導を行いました

現在、学校では交通安全指導に力を入れて取り組んでいます。先日の全校集会におきましても校長先生の挨拶の中で交通マナーや交通ルールに関するお話がありました。さらに、交通担当からパワーポイントを利用し、標識の意味や反射タスキの効果などの話をしました。年末年始を迎え、出かける機会も増えてきます。ぜひ、ご家庭でも交通安全指導をお願いします。

お気づきが寄せられる危険箇所

① 岡の辻の急坂

山口宇部無料道路岡の辻インターから萩原団地へ繋がる道です。普通に乗車していてもスピードが出ます。雨の日には溝蓋にタイヤがとられ転倒するという事故が何度かありました。

② やまぞえ製麺所付近

ここから上に上がっていく道は決して道幅が広いわけではありません。この道をいっぱいに広がっていたり、車がきてもよけたりしないというご指摘を受けたこともあります。

③ 旧道から村松へ続く道

道の両サイドを通行していて危ないとのこと指摘をいただきました。

④ 大沢県住9棟横の坂道

舗装はされているのですが、凸凹で、斜面は急です。この道を自転車に乗って降りる中学生がいるとのこと指摘を受けました。この道は明光幼稚園や常盤小学校へ繋がる道になっており、坂から降りてきた自転車と通過する自動車との衝突事故が起こらないか心配されております。

⑤ コーポ吉井から床波駅へ繋がる細道

自転車が道いっぱい広がって危険であるというご指摘をいただきました。あんど水産から江頭の交差点へと繋がるこの細道は自転車通行を禁止しています。

善行について

先日、地域の方からお褒めのお電話をいただきました。常盤校区にお住まいの方で、毎日見守り活動をされている方です。「男子中学生5名がわざわざ自転車から降りて『おはようございます』と気持ちの良い挨拶をしてくれました。」と学校に電話をいただきました。校舎内でも生徒は挨拶を活発に行ってくれており、来客の方からも「挨拶がよくできますね」と声をかけられることが多いです。家庭でも「おはよう」や「おやすみなさい」などの挨拶はできているのでしょうか。インターネットに挨拶の意味が掲載されていたので紹介します。ぜひ、ご家庭でも話題にさせていただきたいです。

1 挨拶とは心を開くこと

挨拶の語源は「一挨拶」という言葉が由来だそうです。「挨拶」には「押し開く」「互いに心を開いて近づく」、「搦」には「迫る」「擦り寄る」といった意味があるそうです。つまり、挨拶というのは「私はあなたに心を開くよ」という意味なのです。

2 挨拶とは生きていることを感謝しあうこと

「わたしは今ここに生きています」「目の前にいるあなたとわたしは、この世界で同じ時間を一緒に過ごす大切な関係です」という意味があるそうです。

3 挨拶とは相手の反応を押し量るもの

人間の心は毎日違うものです。朝気分よく迎える人もいれば、気分悪く迎える人もいます。つまり、出会ったときに、まずその人が今どういう状態にあるのかを知って、相手との関係をより良くつないでいくという積極的な方法として挨拶があるのです。

挨拶は周りの人とつながりながらより良く生きていく魔法なのです。だから挨拶することは恥ずかしがる必要はありません。とても素晴らしいことをしているわけですから。

(引用 シンプリィライフより)